

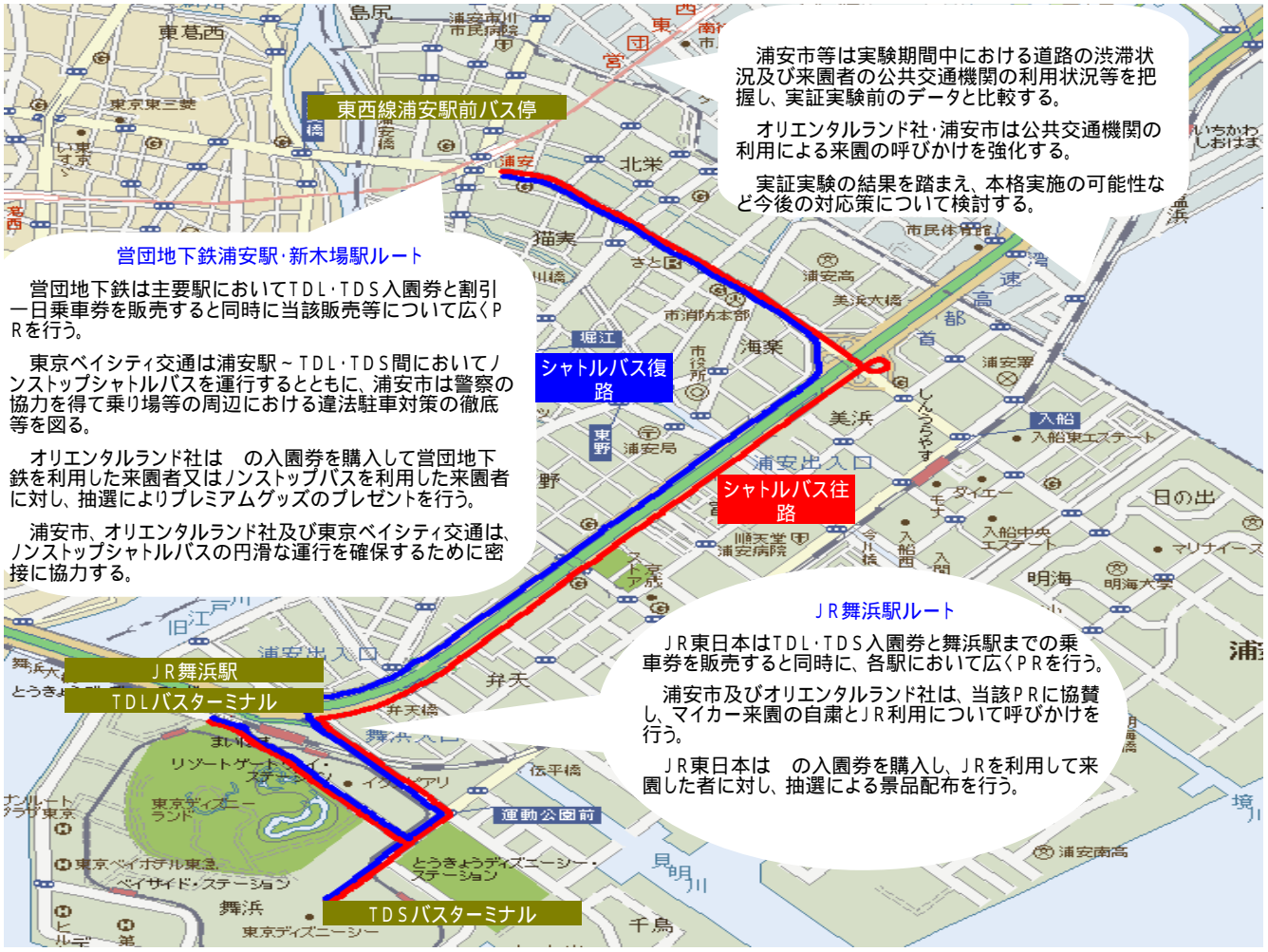
TDR周辺地域交通需要マネジメント実証実験(千葉県浦安市)の概要 (実施期間：平成14年2月～平成14年5月)

背景

東京ディズニーリゾート(以下、「TDR」)は、年間2,500万人の来園者が見込まれている我が国最大の都市型リゾートであるが、休日においては自家用乗用車による来園等のため、一般国道357号を中心に渋滞が生じている。このため、週末・休日を中心に国道357号及び周辺の県道等市内での交通渋滞発生の一因となっているマイカー利用のTDL・TDS来園者について、鉄道とこれに接続する路線バス等の利便性を高めることにより公共交通機関利用の促進を図り、交通渋滞の緩和を図る必要がある。

実験の概要

1. 浦安市及びTDRによるマイカー自粛呼びかけ、浦安市による違法駐車対策
2. 営団が割引一日乗車券を販売
3. 営団、JR及びTDRが連携して、営団、シャトルバス又はJRを利用した来園者に対する抽選によるプレミアムグッズプレゼントの実施
4. 渋滞緩和効果等を検証するため、浦安市・営団地下鉄・東京ベイシティ交通・オリエンタルランド社・JR東日本等が協力して実証実験による効果の検証



関係行政機関等によるTDM実証実験への支援(関東運輸局、関東地方整備局、千葉県警察本部)

実験の成果

- JR京葉線の利便性及び舞浜駅の認知度が高く、営団地下鉄駅からのルートは利用増加効果は小さいものであった。また、シャトルバスの利用者数も少ないものであった。
- JRについては、キャンペーン中のアンケート結果によると、始めて来園した人で、JRを利用した人のうち、キャンペーンの結果、JRを利用したと思われる割合が約10%見られたなど、一定程度の効果があった。

実験後の状況

- 営団、東京ベイシティ交通のキャンペーンの効果が小さかったこともあり、実験後、同様の事業を行う予定はない。